

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

かしわば

Vol. 31

2011.10

K a s h i w a b a N e u r o s u r g i c a l H o s p i t a l

Clinical Skill Up Conferenceを開催

チーム医療による脳神経外科治療を発信し
地域の医療機関との連携を強化

委託会社紹介／北陽ビルサービス株式会社

写真：八紘学園・農場

特定医療法人
柏葉脳神経外科病院

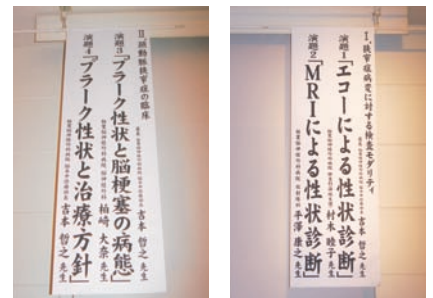
Clinical Skill Up Conference を開催

Theme : 当院の頸動脈狭窄における検査と治療

チーム医療による脳神経外科治療を発信し 地域の医療機関との連携を強化

2011年7月1日(金) 18:50 ~
札幌グランドホテル
別館2階グランドホール

当院では、職員が脳神経外科治療の取り組みを発表する地域研修会を開催しています。医師や検査技師などの医療スタッフが、それぞれの専門技術を持ち寄り、連携して取り組む専門的アプローチを地域の医療機関へ発信することで、自らのスキルアップと地域医療全体のレベルアップを目指しています。



Clinical Skill Up Conference プログラム

●座長

柏葉脳神経外科病院
脳卒中診療部長 吉本哲之先生

●コメンテーター

北海道大学大学院 医学研究科
脳神経外科学分野 教授 寶金清博先生

北海道大学大学院 保健科学研究所
病態解析学分野 教授 三神大世先生

当院の頸動脈狭窄における検査と治療

1. 狭窄症病変に対する検査モダリティ

演題1 エコーによる性状診断

柏葉脳神経外科病院 検査科 村木睦子先生

演題2 MRIによる性状診断

柏葉脳神経外科病院 放射線科 平沢康之先生

2. 頸動脈狭窄症の臨床

演題3 プラーク性状と脳梗塞の病態

柏葉脳神経外科病院 脳神経外科 柏崎大奈先生

演題4 プラーク性状と治療方針

柏葉脳神経外科病院 脳卒中診療部長 吉本哲之先生

CLOSING

柏葉脳神経外科病院 院長 金子貞男先生

頸動脈狭窄症とは？

脳の血管が急に詰まる脳梗塞。その原因のひとつが「頸動脈狭窄症」です。近年、糖尿病、高脂血症、高血圧症といった生活習慣病とともに増加していますが、無症状で進行し、頸動脈に付着したプラークが剥がれて脳の血管に詰まって脳梗塞を引き起こします。脳梗塞を発症すると、致命傷となったり、重い障害が残ることがあります。

当院では、各専門医療スタッフが頸動脈の超音波検査やMRI検査を行い、身体に負担をかけることなく的確に診断しています。

当院が開催するClinical Skill Up Conferenceは、今回2回目。地域の医療機関から医師や検査技師などの医療関係者114人が参加しました。

今回のテーマは「当院の頸動脈狭窄における検査と治療」。専門領域の壁を越えて連携する4人のチーム医療スタッフ（医師、検査科職員・放射線科職員）が、高度医療に適応する検査や治療の手法を動画を使って具体的に説明しました。コメンテーターを北海道大学大学院の寶金清博教授と三神大世教授が務め、参加者は、熱心に聞き入り、活発な質疑応答を行いました。

最後に当院の金子貞男院長が「当院では、医師をはじめとする各分野のスタッフが連携し、それぞれの専門性を生かしたチーム医療を行っています。機会あることに、自分たちが取り組んでいる医療の全てを明らかにしながら、研鑽を積み、スキルアップを図りたい。多くの皆様にご指導いただける、このような研修会を継続していきたい」と挨拶しました。

柏葉脳神経外科病院では、各部門の職員がClinical Skill Up Conferenceをはじめ、毎年開催される札幌市病院学会での発表も積極的に行い、専門知識と技術を高めています。



北海道大学大学院教授 寶金清博先生



北海道大学大学院教授 三神大世先生



懇親会で挨拶をする徳田耕一副院長



CLOSINGの挨拶をする金子貞男院長



終了後に行われた懇親会。地域の医療機関の皆様と交流を行いました。

私たちの考えと取り組み

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります。

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院

かしわば31号

発行／特定医療法人 柏葉脳神経外科病院
電話代 011-851-2333

〒062-8513 札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20
FAX 011-851-2131

URL <http://www.kashiwaba-nougeka.or.jp>

制作／有限会社慶文社

委託会社紹介

北陽ビルサービス株式会社

当院で勤務するスタッフ

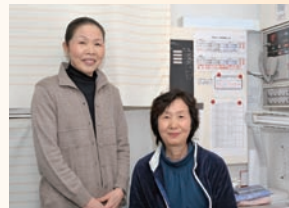
院内清掃	9人
夜間警備(守衛)	5人
電話交換業務	2人
駐車場管理	2人



院内清掃スタッフ



夜間警備スタッフ



電話交換業務スタッフ



駐車場管理スタッフ

常に清潔で快適な環境を提供するために

当院では施設内の衛生環境と安全を確保するため、施設清掃と警備の専門会社「北陽ビルサービス株式会社」に「院内清掃」「夜間警備」「電話交換業務の一部」「駐車場管理」を委託しています。

1日2回の清掃で維持する衛生的な院内環境

院内清掃は、毎日午前と午後院内を巡回しながら行われています。清掃の頻度を上げ、汚れがこびりつく前に低刺激の洗剤で拭き取ることで、「人にも環境にも優しい清掃」を目指しています。

毎月1回行われる定期清掃は、床の清掃が中心。最初に洗剤拭き、次に水拭き、最後にワックスがけで仕上げており、低刺激で抗菌作用のあるワックスを使います。丁寧な清掃が、感染拡散を防止し、

清潔な環境を維持しています。

誠実で丁寧に心あたたまるサービスを

守衛スタッフは夜間巡回で院内の安全を守り、電話交換スタッフは17時から21までの外線電話対応を行っています。駐車場管理は来院いただいた方が、安心して駐車いただけるよう、敷地内の防犯対



策や安全確保に努めています。
当院ではこれからも、患者さんやご家族の皆さんに快適で気持ち良い環境を提供できるよう、委託会社とともに最善を尽くしたいと思えます。

編集後記

大雪山では紅葉も進み、朝晩はめつくりと寒くなりました。皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。寒暖の差が激しいと紅葉が綺麗に色づくと言われており、木々の冬支度が始まり葉緑素がこわれ、「アントシアン」と「カロチノイド」という色素がそれぞれ赤色、黄色を決めるそうです。札幌には意外と多くの紅葉ポイントがあります。今年はどうな色つきを見せるのでしょうか。体調管理にはご留意ください。
(小川)